

令和6年度香川県障害者技能競技大会
【令和7年2月22日開催】

講評

【写真撮影】

本日までご参加の皆様、大変お疲れ様でした。

本日の審査をして感じたこと、まず皆さんどなたも熱心に取り組んでおられたことが大変印象的でした。やはり写真の醍醐味は、興味を持った被写体に作者がレンズを向けて、その時の思いを写真に込めて表現し伝えることにあります。その特性を生かし、このアビリンピック会場での出来事を選手の皆さんに報道カメラマンになった気持ちで作品制作に取り組んでいただきました。今回7名の選手の皆様は、それぞれレベルに差はあるものの各自の個性を思い切り出し切って取り組んでいただけたことが、作品から伝わってきます。一番感じたのは、寄りや引きの画角のバリエーションがとても少ない印象を感じました。同じシーンを複数撮影するのではなく、様々な視点から切り込んでいきましょう。

また撮影だけではなく、プリントが完成するまでのパソコンやプリンターの出力作業における知識もとても大切です。今回はこの点においてどの選手も良い評価となっております。

参加者の皆様及びスタッフの皆様方の多大なるご尽力に改めて感謝いたします。

【喫茶サービス】

- ・笑顔
- ・大きい声での対応
- ・思いやりの心で接する

以上の3点がもっとレベルが上がれば、香川県のレベル向上につながると思われま

【製品パッキング】

本年は参加者も多く、皆さん最後まで集中していました。

課題も多く、競技人数も多い中、各自集中してすすめられていました。スピードを重視しすぎてしまい、丁寧さを忘れがちなので、そこを忘れずに今後がんばってほしいと思います。

【ビルクリーニング】

競技者の皆さん、本当に練習しているのが伝わって、見ていてすごく感じました。年々、上位と下位の差がなくなってきていて、審査が大変になりました。(すごく良い事として)

引き続き練習してもらい、細かなところまで注意していただきたいです。ありがとうございました。

【フラワーアレンジメント】

<第一課題 ラウンドスタイルの花束 競技時間：45分>

選手の皆様は、頑張って時間内に仕上げることができました。

花束はスパイラルに結束し、テーブルに自立することが作成条件ですが、そうなるには努力と技術が必要です。まだまだ基本の技術ができていませんでした。しっかり練習してください。

<第二課題 ホリゾンタルオーバルの食卓テーブル装飾

競技時間：60分>

選手の皆様は、競技時間内に花材を十分に使って、楽しんで作品を作成させていました。花材の配置と配分は、よく考えて美しい作品を作成していましたが、ホリゾンタルオーバルの型を理解できていないので、全体のバランスが悪かったのが残念です。

基本を学ぶと花材の使い方が見えてくるので、もっと基本を勉強してまた来年、参加してください。

【ワード・プロセッサ】

会場が変更になったということで、選手の皆さんは少しやりにくい面もあったかと思いますが、競技中は集中して取り組まれていたと思います。課題のレベルは前回同様で作成しましたが、全員の方が最後の課題まで終了できていて、練習の成果が表れていると感じました。

半角・全角の違いや入力ミスなどで差が出たようでした。

来年もチャレンジお待ちしております。

【表計算】

選手の皆さん、お疲れさまでした。

表計算競技は、装飾・編集、関数、グラフ作成、データ処理の4つの設問でした。全国大会のように少し難しい問題もあったので、時間が足りずに最後まで解答できてない方もいました。入賞された方はすべての設問にバランスよく得点がとれていました。

次回もご参加お待ちしております。ありがとうございました。

【縫製】

今回も競技時間より、余裕をもって出来上がりました。

競技中もあわてず、集中して取り組めていました。

ひもの先や、ポケット口など折り代の始末が少し雑だった様に思います。

脇のカーブを延ばさずに、仕上げる事に注意して下さい。

来年もぜひ挑戦して下さい。お疲れ様でした。

【パソコンデータ入力】

データ入力は昨年と同じく3競技を実施しました。

全体的にみなさんの入力スピードが速くなっており、よく練習していると感じました。

競技①につきましては、数字とアルファベットの入力で、入力ミスをしている方がいました。正確性を意識していくとより満点に近くなると思います。

競技②、③については昨年と同じく、みなさんよくできていました。

【オフィスアシスタント】

今年度のオフィスアシスタント競技は昨年度に引き続き「1 配布物の準備」「2 発送書類の封入」「3 社内便の仕分け」の3つの課題で構成されていました。

選手のみなさん全体の傾向として、課題の内容を理解し、各自の工夫を凝らして取り組んでおられる様子が印象的でした。

特に課題1と課題2は完成品に仕上げるまでに複数の工程があるため、作業の段取りが得点に影響しているようでした。

成績が上位であった方々は、限られた時間の中で得点に結びつけるために、事前に試行を重ねてこられた印象を持ちました。

今回出場された皆さんは、今大会の経験を活かして、今後もさらに上位を目指して取り組んでいただきたいと思います。